京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

出頭沒頭 (三)

みどり

▲活火山淺間山鳴動し山麓附近に灰燼を降らせしとのことにて土地の人心胸々として其の堵に安んぜず各々立ち退きの準備を爲しつゝある由に候、さればにや君子は危きに近寄らざる諺通り斯の如き危險なる山嶽の近邊に住居せざるがよろしかるべしと被存候もそこが人間の我儘にて時に心胸を躍々させながらも腰を据へ居る譯に候とはいふものゝ余輩は朝から晩迄統監政治のブマさ加減を嘆息し眉を顰めて窮窟く思ひ居る事の如上の理屈より割り當つれば其のやうな不快な土地に居住せず一日も早くサッサと愉快な土地へ移住する方が得策とは萬々承知いたし居り候もそこがやはり人間の我儘にて常にヂレッタク思ひながらも腰を据へ居る譯に候、唯願くは韓國の統監は富士山の如く死火山的人物にあらずして淺間山の如き活火山的人物こそ必要に候時には鳴動し噴火して灰燼を降らすも敢て意とする所に非ず候、要するに伊藤公の如き人物は鳴動する死火山にして曾禰子の如き人物は鳴動せず噴火せざる活火山に候何れも地文學者の鑑定に苦しむ山嶽と存じ候

▲大山鳴動して鼠一匹出でしや否やは不知候も淺間山鳴動してチロル、モリソン兩氏の珍客來韓いたし候居ること僅か三日夜を差し引けば三十有余時間に候(八時間を睡眠時間と定めて)而して此の僅少なる三十有余時間に於て兩記者が觀察し推斷せし實際の對韓政策は如何に候ひし乎、聞かまほしく候、言ふべくして言ふべき言はさほど耳にいたしたくは無之候も思ふべくして言ふべからざる言は何となく聞かまほしく候但し此の思ふべくして言ふべからざる感想之れ無しとすれば余輩は東の空を望見し或る人に向つて御同慶を唱かねばならず候、而も余輩は兩記者の無事歸國を祈り居り候

▲一進會長李容九氏は六日東京を出發し歸韓の途に就かれたる由東電以相傳へ候「東電信じ難し」とは先日の京城雜感に記述せし所に候が異質余輩は近頃の東電に信を措き難く候、何となれば報道一も脈絡なく首尾なく讀むものをして茫として歸着する所を知るに苦ましむるものあるが故に候、一例を擧ぐれば過日の曾根子昇任條件の如きは其の著大なるものと存じ候、勿論一電文に就ては脈絡あり首尾あり候も頻々として打ち來る電報を對照閲讀すれば少しも辻褄合はずヤレ昇任遲延の理由は斯うの否な那あのと一向に要領を得ず候、尤も如上の李容九の歸韓日確定の如きは別に深き意味有之筈無之行つたものは何れの日にか歸り、醉ふたものは何れの時か醒むるが理の原則なれど但し行つたなりにて異國に歸化し醉ふたなりにて頓死するは此の限りにあらずと御思召し被下度候

▲卯の花くさしめやかに身心何となく鬱陶敷く候、此の時に當り獨り悠然として網雨を犯し二本の角を突き出だして天下を睥睨するの概を示すものは蝸牛に非ず候哉、吁余輩の好愛する蝸牛よ爾もし術あらば如かず勇猛なる鬼と化し韓八道の暴徒を擒滅されんことを……(七日午後二時稿)

文苑

●大馬鹿者　清香

世の中には隨分馬鹿者も多いが此頃東京は麹町區に住む中川某なる者は日夜苦心して安眠自殺法なるものを考へ出し、之を實行せんとし萬朝報編輯局に手紙を送る、朝報は急ぎ彼が住家なる現場に馳け付けた、然るに安眠自殺發明者は實地試驗が怖ろしくなつたか、或は効力がなかつたか寝床は藻抜の殻である、惟ふに此大馬鹿者は怠惰者で糊口に困り世に存在ができぬ所から、腹を切るのは痛ひし、毒藥や水死は苦しいと云ふ臆病からこんなくだらぬ事を考へたのだ、人騷がせな、斯んな奴こそ世に無用也

●百人一首讀替 (十)　まさご女史投

●大中臣能宣
せとにたく漁人が夜の火は遠近に
あどなきひるはたふる思を

●藤原義孝
命さへ君にさゝげて見むものと
逢ふつた桂なかくかゝるを

●藤原實方朝臣
つげたくもなかばに過ぬ這たる虫
焦るゝ身こそ知やしらすや

●藤原道信朝臣
逢ふからは別るものとしりながら
きぬ〜〜告る鳥ぞうらまむ

●右大將道綱母
湧き出る千々の思ひやながくして
何れもれなし戀ふるれる影

●儀同三司母
戀らじの契りすることこそやすけれど
あな恨しききみが御こころ



佐倉宗吾 (百一)

眞龍齋貞水講演

宗「返す〜〜も恐入ります、私風情の匹夫の者へ、大僧正に成らせ給ふ御手代樣が、今ここで生命を捨てるまで御計ひ下さること、宗吾の身に取り有難く存じます、此御恩は死すとも忘れは致しません」と、圓珠院樣に對し、兩手を合せて拜み、ハラ〜〜と落涙、此時に 圓「多くの人に代る其方も憫然な事である」と、圓珠院樣も御泣き遊ばす、夫から茶を頂戴して、自分の居室へ退る、明日は未明の頃はひ、圓珠院樣の御手引を蒙るのでありますから、其夜は眠らうとしても眠られませぬのは當り前、軈て圓珠院樣もう御支度と云ふ事に成りましたから、宗五郎も七つ前であらうと思ふ頃はひに支度を致しまして、萬一將軍家へ願書を奉るのに狼狽てゝ取落しでもするやうな事があつては成らぬから、懐中に一通、左右の袂へ一通づゝ、同じ願書を都合三通用意いたしました、其時に圓珠院樣が 圓「コレ宗五郎」 宗「ハイ」 圓「此御山へ入つて、是まで御世話を蒙りたるも、大僧正凌雲院樣の御蔭でもあり、殊に大僧正は、其方の[illegible]いては、一方ならず御心配下し置かれたるに依り、今夜は御別れ申し上げよ」 宗「ハイ有難い事にございます」御病中で居らせられる大僧正へ、圓珠院樣より御事を申し上げると、宗吾に會て遣はすと仰つしやる、身は下總印旛の郡、公津新田の百姓でございまするが、多くの人に代つて生命を捨てやうと云ふ眞の義俠、その義俠心を感じ遊ばして、病間まで宗五郎を召されました、夜中の事でありますると大僧正は、御聲爽かに 僧「宗五郎か」 宗「ヘエー恐れ入り奉ります」 僧「愚僧は病中にして、悉く圓珠院が何事も計ひ、愈よ今日の御成には、其方の大願成就、併ながら將軍家へ對して、其方願書を奉れば、必ず御處刑は免かれまいが、此御處刑は、多くの人の生命に代る者、決して恥る所はない是が今生の別れである、随分大切に望みを遂よ」 宗「ヘエー恐入り奉ります是までの間は宗五郎一方ならざる御厚恩を蒙りました、其上また御山にて御計ひ下し置れまして、此願書を奉る事に相成りました、有難く存じ奉ります、是にて御別れ申し上げます、何れ冥途黄泉にて御目通りを致しまする」と、ハラ〜〜と落涙をする、「憫然なものを」と仰せられました、此方は圓珠院樣 圓「サア來れ」と仰せられる、是から圓珠院樣に伴れられまして星を戴き、三代將軍大猷院殿の御靈屋へズウッと進みますると圓珠院樣が 圓「さて宗五郎」 宗「ハイ」 圓「其方は多くの人に代つて生命を捨てる、今日は大切なる願書を奉る當日、一分一厘も違はざる舞台の場合であるから、能く氣を注けよ」と云ふのは、此圓珠院が奥の院にて鈴を振る、其一の鈴にて讀經が始まる、二番の鈴が鳴る時には、既う上樣が御進みになる、其二番の鈴にて其方は支度をして、三番目の鈴が、階に御足が掛るのであるから、其事を能く心得て居れ、もう二度目の鈴を聞いたら、現はれて願書を奉れよ、宜いか」 宗「ヘエー畏りました」 圓「併し世の中には、多くの人のため、代つて生命を捨てるなどと云ふ事は尊いものぢや、其方が今日、此處で生命を捨てるとも、決して心配する事はない、人を殺し火を放ち不義なる事に及んで、生命を捨てる者は、八大地獄に落ちると云ふが、其方の如き最後を遂ぐる者は、一時浮世に苦むと雖ども、彼の世は極樂淨土、寂光淨土、蓮の臺で百億萬の佛と共に、安養世界に居られる事、愚僧に於ても、冥途の旅の道伴となつて、共に安養淨土へ參るであらう、さて〜〜宗五郎、不思議な縁であり、最早この世の中で汝に遇ふは是限りである、是が別れであるぞ」と、圓珠院樣、宗五の手を御把り遊ばされた時に、宗五は圓珠院樣の御顔を見詰め 宗「誠に有難い次第でございます、貴僧樣の御手引にて、今日直訴が叶ひます、何とも申し上げる言葉がございませぬ」ハラ〜〜と落涙する



上野三代將軍靈廟前なり（圖は靈廟は日光に遷されて今はあらず）

京城新報

外客の接待　國民的外交

封建時代に於ては藩を代表するものは藩主にして藩の外交は總て藩主によりて行はれ人民は更に與らず、偶々外來の客あるも之を接待するは唯藩主のみ、然るに時勢は一變して今や國民的外交の必要を感ずるに至れり、日本の如きは因襲の久しき近來に衝りて外國人の來訪せるゝも唯政府のみ之に與り國民をして之に與らざらしめし也、是が爲に日本國民の眞相は外國人に知られず、從て意志の疏通を缺き直接間接に外交上の不利益を招きたる例は決して珍しからず爲に政府も官憲萬能時代の外交を墨守するの非なるを悟りて、數年前より國民的外交の必要を感じ、列國知名の人が本邦に來遊せらるゝ場合には政府は國民と共同して其歡迎に努むるに至れり、是れ實に外交上の一進歩にして其効果は必ずや國交の上に直接若しくは間接に現はれ來ることは敢て疑を容るべからざる也

然るに韓國に於ける此等の狀態は如何、從來韓國に於ては封建時代の藩主に於けるが如く、外交は殆ど統監府の一手販賣たるが如く考へて、居留民をして更に與らしめざる[illegible]にして官憲萬能の夢未だ醒めざるもの、全體今日の韓國は外人の最も注意を拂ひて觀察する所、帝國の保護政治が如何に施設されつゝあるか、少數の外國人は能く保護統治の困難なることを知り居るも、其多數は概して猜疑の眼を放て觀望しつゝあり、此際に於て偶々視察に來る外國人には可成保護政治の眞相を知らしむると共に好感を抱きて去らしめざる可らず、此等の外國人に眞相を知らしむるには決して統監府のみにては不可能也、外國人も統監府のみに聽きて滿足するものに非ず、是非とも統監府以外の居留民より形式を脱したる非形式的の意見を聽取せしめ其間に於て能く眞相を會得せしむるを要す、然るに統監府は外國人取扱は一手販賣の如く考へ居留民をして外國人に接せしめざるに於ては、外國人は單に形式的の報告を聞くのみに止まる、英米は勿論其他の列國人と雖も、時勢に遲れたる國民ならざる以上は政府の言說のみに信を置かず、是に向て如何に統監府が說明するも滿足せざる也、故に今後は統監府も祖國政府の方針に傚ひ官民共同の歡迎接待をなし去來の外賓に好感を抱かしむるの擧に出でざる可らず、頃者倫敦タイムス記者チロル、モリソン兩氏來遊の際にも居留民の多數は官民合同の大歡迎をなさんと唱道したるも時日なき爲に之を果さず、單に經濟協會の歡迎に止まりし也、聞く所に依れば米國前副統領フェアバンクス氏も近々來遊せらるべしと、今後尚其他の外賓が半島に來遊せらるゝもの少からずと思はる、當局者は須く洪量以て居留民と共に外賓の歡迎をなし、所謂國民的外交を發揮せしむる擧に出でんことを望む。

東京電報

▲親任式延引の內情　統監親任式延引の內情は全く中央銀行設立問題の爲にして同問題は伊藤公の主唱なれば公の在任中に決定せんとし目下日韓兩國政府と第一銀行との間に交涉中なりと噂せらる

▲親任式擧行期　統監親任式は別項の理由により延引し居れるを以て其擧行式は本月十日以後なるべしと

▲伊公の渡韓期　曾禰子は統監親任式後直に渡韓すべきも伊藤公は廿日頃なるべしと

▲伊公の議長任命期　伊藤公の樞密院議長任命は曾禰子親任式よりも後れて發表せらるべし

▲桂首相の奏請　桂總理大臣は昨日參內統監及樞密院議長の親任を奏請したり

▲日糖事件第三回公判　日糖事件第三回公判は本日開廷し例により傍聽人滿員なり

▲漁船遭難警戒と軍艦　露領沿海州は濃霧時期に達したるを以て漁船遭難警戒の爲め比叡武藏の二軍艦を派遣することに決定せり（以上八日午後發）

雜報

●道書記官會議（度支部所管）　各道書記官會議は度支部所管事項に就き八日午後一時より度支部樓上に開會したるが次官代理鈴木司稅局長は韓國財政從來の經過及概況に付き一場の演說を爲し注意事項に說明を與へたる後各道書記官より提出せる質問事項を協議し散會したりと云ふ

●農商工部注意事項　農商工部より道書記官會議に提出したる諸問案十ヶ條は昨紙既報せし所なるが尚左の注意事項に就き道書記官の意見を徵すべし

一、獸疫發生を各豫防機關に敏活通知の件
二、市場の新設變更並に市場開市日の變更に關する件
三、物產陳列場に關する件
四、工事奬勵補助並に本部所管工業傳習所利用に關する件
五、鑛業出願及土石採取出願の取扱に關する件
六、部分林設定奬勵に關する件
七、火田並に根株採掘の禁止其他森林保護上の取締に關する件
八、森林法第九條に依る私有林野の屆出を期間內に爲すべきことを周知せしむる件並に該法規と土地建物所有權證明規則との關係及該法規に對する誤解に關する件
九、國有森林山野に於ける入葬の件
十、保安林の調査並に其編入に關する件
十一、模範造林地選定に關する件
十二、漁民に對する漁業法規を周知せしむるの件
十三、免許漁業及許可漁業願書取扱に關する件
十四、府尹郡守の屆出漁業取扱に對する指導監督に關する件
十五、漁業取締朝鮮海水產組合を利用する件
十六、淸國人密漁業取締に關する件
十七、漁業經營上必要なる沿海國有未墾地を聯關利用する件

●伊公と園遊會　伊藤公は本月十五日頃歸任の上園遊會を催すべき旨其筋へ電報ありたりといふ

●屠獸規則案內容　從來韓國に於ける屠獸規則案は農商工部の所管にして包肆規則に依り屠獸業者は郡守觀察使を經て農商工部に出願して免許狀を受け營業稅として國庫に規定の稅金を納入しつゝありたるが今般農商工部は內部と協議の上屠獸に關する件は之れを內部の所管とすることゝし法令審査會に於て屠獸規則案を起草し之れを道書記官會議に提出して擬議する處ありたるが其內容は地方稅として一般營業者より徵稅せしむべき筈なりといふ

●定例參與官會議　八日は定例大臣及び參與官會議日なるを以て午前十時より各參與官統監府に參集參與官會議を開きたり因みに大臣會議は統監不在の爲め休會せりと

●太皇帝の下賜金　目下日本に遊學中なる韓太子付武官長趙東潤の老母は近日趙の二子を連れ渡日すべきに付き去る五日太皇帝及嚴妃より金三百圓を下賜したりと

●學相と道書記官　李學部大臣は九日午後六時より各道書記官を翔翠樓に招待して晩餐會を開くべしと

●李容九氏の歸韓　一進會長李容九氏は昨八日午後八時十分南大門着列車にて歸京せし筈なり

●渡邊司令官の歸邸　去る四日入京したる臨時韓國派遣隊司令官渡邊少將は梅田、松田、安達の三副官西村三等主計正山田三等軍醫正其他の隨員を隨へ七日大邱に歸れり

●一進會の觀光團歡迎　一進會にては本九日正午十二時より熊本觀光團を獨立館に招待し歡迎會を開くよし

●平壤農林講習所　今平壤に新設さるべき平安南北道の農林講習所は十日より開所の筈なるか校長は觀察使を以て之れに充て學監は荒井技師にて農業及林業に關し實際上の講習を爲すべき筈にて終業年限は凡そ一ヶ年間の豫定也と

●農工銀行と不動產　韓國の農工銀行中不動產に對して貸付を爲し得さるものは淸津及草梁にある二銀行なるか在淸津理事廳は不動產に對する貸付を爲すべく今回度支部へ照會し來りしが同部にては淸津は商業地にして且中繼地たるに止まり又氣候寒きを以て農業地に非されば其要求に應じ得ずと答へたりと云ふ

●工業團体と招待　京城日本人商業會議所にては八日午後二時より福岡工藝團体十八名を同會議所樓上に招待し茶菓を饗應し後韓國商工業に關する參考書類を閲覽せしめ終つて戶叶書記長の講話ある由尙京城民團にては九日午前八時三十分より右一行を同民團樓上に招待し茶菓の饗應を爲し後民團の年表及民團發展の經過等を示す由

●社寺監理の移轉　韓國に於ては從來宮內府に於て社寺一切の監理を行ひ其財產も宮內府の支配する處なりしが昨年六月發布されたる勅令第十五號によりて社寺の監理は之れを度支部又は內部に移すことゝなり爾來其の何れに移すべきやは內閣會議に於ても俄かに決定するに至らず荏苒遲延したるが此程に至り漸く內部に屬せしむることに決定したりといふ

●貨幣發行高週報　韓國一銀支店に於ける五月三十日より六月五日迄に於ける貨幣發行高左の如し

第一銀行券總發行平均高	九、九六七、六〇〇
內　正貨準備發行額	三、三四二、九〇〇
保證準備發行額	六、六二四、七〇〇
銀行券平均手許有高	八三六、五四七
銀行券市場平均流通高	九、一三一、〇五三
硬貨發行額（六月五日現在）	四、二六五、九八〇
內　金貨貳拾圓	一、三五〇、〇〇〇
同　十圓	五〇、〇〇〇
銀貨五拾錢	六七三、五〇〇
同　廿錢	七三二、〇〇〇
同　拾錢	四二二、〇〇〇
白銅貨五錢	七八六、三五〇
青銅貨壹錢	一三八、八三〇
同　五厘	六三、三〇〇
金貨五圓	五〇、〇〇〇

●鈴木局長の演說　鈴木度支部司稅局長は八日別項記載の道書記官會議に於て左の各項に付演說せり

▲豫算嚴守　當國の歲計整理は漸く其緒に就き歲入歲出豫算の編成漸次精密に趨き內容の整理も之に伴ふは甚だ喜ぶべき現象也と雖其實行に於て豫算の揭くる所に從ひ之を嚴守し徵細の點も亦苟且にせず常に注意を拂ふにあらざれば會計紊亂の因となり遂に收拾す可さるに至るは言を俟たざる所なり之を例せば豫算外の支出は天災等に起因して已むを得さるものゝ外は支出せざるが如き若くは收入金あるときは必ず之を金庫に納付し決して之を歲出金に使用し又は豫算の支出に充用せざる等は注意すべき其一二の例に過ぎずと雖も之を要するに豫算を重視するの觀念を養成し郡衙等に就ても常に此意を以て監督あらんことを望む

▲徵稅成績　地方に財務機關を特設せしより以來出來得る限り舊來の弊竇たる誅求官及び官吏缺逋の惡風を芟除し又隱結を發見することゝ實に四萬一千餘結に上り租稅の收に付ても地方財務機關特設以前に比し正に倍額に達するの成績を擧げ殊に隆熙二年度地稅の如きは地方騷擾に拘らず豫算に超過すること十七万圓餘に達し然かも何等怨嗟の聲あるを聞かざるは殆んど開國以來未だ在らさるの現象と云ふ可きなり右は地方官憲の助勢に俟つもの甚だ多きに依るものと信ず自今愈々人民の納稅義務を自覺せしめ圓滿に稅務を進捗に付き盡力あらんことを望む

▲國稅徵收法　租稅徵收に關する法規は大体に於て不完全にして且滯納處分の規定の如きは現今の如く滯納者多く且執行機關の完備を缺く爲め完全の施行を期するを得ざるも差當り兩班又は吏屬等にして時機に依り稅を爲さゞるが如き者に對して故意に納處分を執行する方針なり又財產差押及び其賣却の如きは當國人民に取りては新なる處分に屬し往々誤解を生ずることなしとせず故に是等の點に對しては相當の說示を望む

▲地稅減免　田畓の海川成其他陳荒に歸したる土地あるも政府は之に對し地稅の減免を爲すこと殆んど稀なるは畢竟開墾其他新に課稅すべき土地を生ずるも之を申告するもの無きのみならず海川成陳荒地の故を以て一々此等に依りて之が減免を許可する時は結數は年々減少の一方に陷るの結果を來すべきに因る今回達觀に依つて全体の土地を觀察するも現に納稅する結數以上に課稅すべき土地の散在するは疑なき所なり斯の如く政府は海川成其他陳荒に歸したる土地に對し減免處分を容易に行はざるは他日土地整理を終了する迄に於て已を得ざる處置なりと云はざる可らず之を以て各位に於ても此意を諒し人民に對して充分なる說諭あらん事を望む（未完）

寄書

韓國中央銀行論（五）

ケー、シト生

（其五の續き）

抑も第一銀行券發行の始は實に明治三十五年五月なり其起源を探究するに當時韓國に流通せる貨幣は韓錢（重に葉錢と白銅）と日本銀行券なりしも韓錢は相場變動の危險あるが上に受授保管に不便甚敷又日本銀行券は此種の不便危險なきも各銀行が需給の狀態に應じて其都度日韓兩國の間を現送するの手數を要し之が爲に交通不便なる當時に於ては資金の融通自由ならず從て金利も亦非常の高率を示したり此に於て此弊を救正せんが爲に當時商業會議所及重立つ商業者が鳩首熟議の上案出したるもの則ち第一銀行券の發行なりしなり

而れども當時第一銀行の信用未た一般に知悉せられず殊に紙幣の觀念なき韓國人の如きは危懼不安の念を抱きて容易に其授受を肯んせす剩へ某國公使の如き裏面にありて韓廷を煽動し韓政府をして銀行券受授禁止令を發せしむる等流通上に妨害を加へたり今左に當時の出來事を略記すべし

●明治三十五年日本政府の許可を得て銀行券を發行す
●京城仁川にては流通宜敷かりしも韓人紳商協會の如き受授禁止を決議す
●同年十一月韓政府は銀行券受授禁止令を發す
●該禁令は京城鎭南浦にのみ行はれ其他は然らず
●我林公使韓廷に禁止令の撤回を迫り三十六年一月取消
●時に李容翊旅順口より歸來再び銀行券排斥運動を始め韓人を煽動す茲に於て取附起る
●二月三日外務省は萩原代理公使に電命韓廷に嚴談せしむ然れども取附止まず當時流通高三百萬圓餘なりしに取附高六十萬圓に達す
●十二日に至り韓廷遂に禁止令を撤回す
●十三日林公使軍艦高砂にて來る軍艦暫く碇泊す排斥運動止む
●六月韓人間に再び排斥運動起りたるも首謀者捕へられて止む
●三十八年一月勅令七十三號及韓廷との契約に依り韓國に於ける法貨となる

前記の如く韓人及び韓廷の反對により折角の發行も一時失敗に了らんとせしか此際に當つて各地の居留商人は協心戮力熱心に其流通に盡瘁し一般韓人に其使用を奬勵勸告したる結果漸次第一銀行券の信用を高め來り遂に今日の如く一千万圓の高額に達し頑迷不靈なる韓人をして紙幣受授の便益を覺知せしむるに至りしなり

因之觀之第一銀行券は居留商人の發意に依り居留地の資金融通と金利引下を目的として起り居留商人の盡力に依りて各方面に普及し其効果として無智の韓人に紙幣の効用を覺知せしめたるものと云ふべし

起源沿革實に此の如くなりとすれば此特權の解除に對する賠償金は第一銀行と居留民との間に兩分せらるべきものなり其分配法の如きは余輩をして忌憚なく云はしむれば折半配當を以て最も公平なりと信ず乃ち前顯賠償金五百萬圓の中二百五十萬圓は第一銀行之を收め他の二百五十萬圓は各地の居留民團に配分するを至當とす關係當事者以て如何となす敢て大方の意見を聞かん

●福岡工藝團茶話會　在京城福岡縣人有志者の主催に係る福岡工藝團の茶話會は八日午後一時より翔翠樓に開會せる由

●恒吉旅團長の歸任　恒吉旅團長は土方副官を隨へ四日入京滯在中の處七日歸任す

●內部境警視の歸任　曩きに北韓地方巡視中なりし境內部警務局付飜譯官は[illegible]日夜歸任したり

●英國武官の入京　英國陸軍大尉ジー、エー、ジヨリー氏は韓國視察の爲め六日入京パレスホテルに投宿中なるが同氏は約一ケ月間ほど滯京すべしと

●釜東間鐵道出願期　釜山鎭、東萊間の輕便鐵道敷設の議につき四日理事官舍に於て第一回の發起人會を開き藥屋助役、淺見技師之が說明をなしたる由なるが會する者釜山の實業家五名にて出資には東萊附近土地所有者重きを占め居れり一旦大体の測量を終了尚再調査を爲し結了の後ち遲くも來る十日頃迄には韓國政府へ出願を爲す筈也

●韓國水產誌　五百九十七頁の大冊子なり冒頭には曾禰子、李總理の題字趙農相木內次官鄭水產局長の序文あり寫眞版數十葉朝鮮海水產組合本部を初めとして漁業地の風景及魚箭魚市場、燈臺製鹽田の光景等何れも鮮明にして優麗ならざるはなし內容は第一編第二編に分ち別に二十二章に分ち更に九項よりなる氣象圖水溫圖有堤鹽田圖等を附す目次は最初韓國の地理を述べそれより河江の狀況、沿岸の狀況、航海險難及目標、航路標識水路告示、氣象、海流、潮汐、水溫、水色、水深及底質、海運、通信、水產物、水產物養殖、水產物製品、捕魚輸送及販賣、製鹽業、水產物輸出入、漁具及漁船等なるが叙述精明統計綿密確に有益なる冊子といふべし（第一輯農商工部水產局編纂）

公人私人

▲田原利（帝國生命保險會社重役）入京中の處七日釜山へ
▲仲野雄七郞（水原東山農場長）同日歸水
▲岡本正夫（大邱副理事官）同日歸任
▲橋本豐太郞（仁川副理事官）入京中の處七日平壤へ
▲淵邊中吉（鹿兒島縣商工課主任）七日入京原金へ
▲岡崎藤吉（神戶海上保險會社長）同日入京天眞樓へ
▲米山喜源太（淸津稅關事務官）同日入京不知火

近事片々

▲伊公　山公は頃者數次の會見をなせり兩公の會見は統監更迭に關する用談との噂あるは異乎
▲果し　て事業ならば今尙統監更迭には入組たる譯あるか何れにしても長引くは不可
▲桂首　相が曾禰子の世評が餘り良からざる爲に首を傾け居る也と事實らしく風說する
▲所謂　疑心暗鬼を生ず餘り發表の手間取る爲めに種々揣摩臆測するより流言百出す
▲韓內　閣は連日密議を開き統監更迭に對する態度を協議しつゝありと說も或は噂か
▲曾禰　子親任條件の東電には韓人等少らぬ驚きをなせりと云ふも亦是れ一の流說
▲大韓　協會連は靜まり返て形勢を觀望しつゝあり併し當て事と越褌は向から外づる
▲雖然　彼等は內心大に賴む所ありて然るに非ず唯何となく樂觀されると云ふに過ぎず
▲一進　會も李容九の東京出發によりて少からぬ好望を以て將來に期來しつゝありと
▲是も　亦空喜びに終らざれば幸なるが唯一時の彌縫を漸くなすに過ぎざらんか阿々
▲玄暎　運の舊妻貞夫人は亦も前年の姿を以て活動を始しと說あるも彼の時代は去る
▲彼女　の性質として新夫朴某を馬車に乘せて見たく爲めに運動するも唯骨折損のみ
▲官制　改革八員淘汰の說で韓廷側も統監府側の小役人等戰々恂々たりと或は然らむ
▲啻に　小役人のみならず大官連も亦雲行を觀望して頻に歎聲を漏らしつゝ有と聞く
▲德富　蘇峯氏は東京便に於て和歌には門外漢なれども前置して頻に和歌の講釋を爲す
▲最後　に含雪公の飛ぶ魚の光涼き夏川の底迄透る月の影哉のヌタを讚美す是寓意か
▲淺間、山噴火の反鬪は四千八百哩の地に激震を起さしめたりと其勢ひの猛烈怖ろし
▲頃者　亦東京にては臀肉切取りの惡擧起る男三郞は死でも此種の惡徒は竭きざるが

●西朝鮮海の漁利　從來平北兩北道の瀕岸に於ける漁業は主として淸國密漁者の壟斷に歸し在來の韓國漁民の外日本漁業者の如きは僅かに三十隻內外の通漁に止まり而も其漁法は延縄一本釣等の規模狹少なるものなりしが今年一月以來庵原水產課長の內地巡回に際し該地方の漁業に對し大に奬勵を施されたる結果に依り去る四月以來頓に日本漁船の增加を見現今福岡、佐賀、長崎、熊本等の底曳網（バッシャ網）百五六十隻の來漁するものあり試漁業を試み結果非常の好成績にて毎回捕獲の魚類は其自船に積切れざる程の大漁を爲しつゝありて未だ[illegible]就業日數は三十日に足らざるにも拘はらず各漁船より其販賣代金中より實費を控除し其郷里に送金せしもの一隻平均四五百圓宛に達せる趣にて茲六ケ月間營業を繼續せ[illegible]得べしとか漁業者の歡び一方ならず此報の郷里に達せし以來は尙續々出漁の希望者を出し又其縣の水產組合員の如きは大に其擴張を期し準備の爲め現場へ出張し來り漁法[illegible]に於ける水產の豐富に一驚し急行歸國の上部內漁民の出漁を奬勵せんと計劃しあれば是等西朝鮮海の漁利も是より一層の擴進を見るべく日韓兩國の爲め實に歡ぶべき現象[illegible]

●就學兒童現在數　四十二年五月現在京城の就學兒童數は左の如し

	男	女
第一小學校	六一[illegible]	六三八
第二小學校	五六五	五一五
高等女學校		一七六
京城中學校	一六五	
高等女學校附屬幼稚園	五[illegible]	四〇
庚子紀念幼稚園	七[illegible]	五七
計	一、四六九	一、四二六

●西朝鮮海の漁利 從來平北黃海の沿岸に於ける漁業は主として淸國漁者の獨占に歸し在來の韓國漁民の外日本漁業者の如きは僅かに三十隻內外の通漁に止まるものなりしが今年一月以來度々京水産課長の內地巡回に際し該地方の漁業に對し大に奬勵を施されたる結果に依り去る四月以來頓に日本漁船の增加を見現今福岡、佐賀、長崎、熊本等の府縣（方言）バッシャ船百五六十隻の來漁するものあり鮟鱇漁業を試み結果非常の好成績にて毎回捕獲の魚類は其自船に積切れざる程の大漁を爲しつゝありて未だ就業日數は三十日に足らざるにも拘はらず各漁船より其販賣代金中より實費を控除し其郷里に送金せしもの一隻平均四五百圓宛に達せる趣あり茲六ヶ月間營業を繼續せば一隻少なくも千五百圓以上の漁獲を爲し得べしとか漁業者の歡び一方ならず此報の郷里に達せし以來は續々出漁の希望者を出し又其縣の水産組合員の如きは大に其擴張を期し準備の爲め現場へ出張し來り漁法及び販賣狀況取調中なり是等の者も此方面に於ける水産の豐富に一驚し急行歸國の上部內漁民の出漁を奬勵せんと計劃しあれは是等西朝鮮海の漁利も是より一層の增進を見るべく日韓兩國の爲め實に歡ぶべき現象を呈し來れりと云ふ

●就學兒童現在數 京城の就學兒童數は左の如し

四十二年五月現在

	男	女
第一小學校	[illegible]	[illegible]
第二小學校	[illegible]	[illegible]
高等女學校		[illegible]
京城中學校	[illegible]	
高等女學校附屬		[illegible]
庚子紀念幼稚園	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

●京城座見物（上） 劇評生投

久し振りに京城座をのぞいて見た、曇天ではあつたけれども土曜日の加減か滿場は立錐の餘地もないといふ有樣にて九時頃には大入札止めを掲ぐるに至つた、僕の行つたのは二幕目の中程であつたが場所がないので二階棧敷の片隅に小さくなつて覗いて見た [illegible] を帶びて來るので近頃にない面白い心持の好い芝居だと思つた、少しばかり僕の感じたまゝの事を書いて見よう。

藝題の頭に蝶千鳥と冠せたのはどういふ譯か更に判らぬ尤も舊劇の曾我に蝶千鳥と冠せたのはあるが夫れは書き下しの時に十郎五郎を演ずる役者の紋處が蝶と千鳥であつたので作者が夫れを當て込んで蝶千鳥と冠せたのであるが新派のものにコンナ名前を付ける必要はあるまい單に軍人曾我で澤山だと思ふ。

各優の中で一番成功したのは青山の吉野秀夫である、前にも云つた通り狂言が活動澤山の大甘物と來てるからシンミリとした腕を振つて見せると云ふ處はないが懸命に演じて居たので寸分の隙がなく十郎の性格を能く呑み込み一度ならず二度ならず張り裂く胸を押し鎭めて血氣に爆せる弟輝夫を制するあたりは確かなものであつた、然かし剛三の宅で眉間を割られ突き出されてから玄關の柱を摑み『啼かざれば啼くまで待う杜鵑』と云つて花道の駈け込みは少しく慊氣を感じた、啼ざれば云々は敢て名台詞とも思はなかつた、此所では一言も口を利かす只だ無念を呑での引込みが餘情を殘しはせぬか斯く云へば或は臭ひから止したと云ふかも知らんがドーセ大甘物の狂言の事だ臭くても何でもウンと當て込まねば損だと思う敢て再考を煩はし度い、夫れから父の死骸を見て剛三の所爲と知れてからの愁嘆が少しく足りなかつた、此處が狂言全體の骨子だから尤も大切な處だと思う、然かし相手の輝夫を演ずる橋本と些とも芝氣が合つて居らぬので定めし仕惡くからうと思つた、兎に角此の狂言の成功したのは同優の力であると僕は確信した、次ぎはいろはの監獄長（名は忘れた）であつた僅か三度顏を見せる丈けであつたが役者は一文上り此の人が出ると場が締つて見へるのは不思議だ殊に食つて除けの儲け役と來てるから尚更だイヤ御苦勞く（續）

●藥局生の窃盜

▲小人玉を抱いて罪あり

本町四丁目[illegible]病院の藥局生秋田縣平鹿郡[illegible]平田國治（十八）と云へるは去る五日夜同病院藥局員河野作殿が會計より[illegible]內四十九圓を紙入れに納め[illegible]置きて就寢せるを見て[illegible]も同室に寢ぬる事とて[illegible]が紙入を引出し在中の[illegible]し尙は其前夜同病院が[illegible]金七十六圓と外に已れ[illegible]圓五十錢とを窃取し河野の紙入は己れの紙入と共に塵箱に投棄し翌朝に至り盜賊忍入り己れの紙入を窃取されたりと云ふや河野も驚きて騷ぎ出したれば平田は其儘警察署に訴ふるとて外出し旭町一丁目自轉車屋中川方の椈の上に件の金子を樣子を告げずして預け置き其れより警察署に屆け出しかば同署よりは中井、村上兩刑事をして捜索せしめしに平田の擧動の怪しきに兩刑事は目星を付けて取調べしかば遂に包み切れず自白に及び昨日檢事局に送らる

●強盜三人押入る

▲短銃を差向て脅迫す

中部瑞麟坊富井洞十八統七戸三昌商會主趙勉淳（三七）方へ一昨日午後九時四十五分頃三名の強盜侵入し短銃を以て家人を脅迫し現金五十四圓外雜品十一點（代六十七圓五十錢）を奪取して逃走したるが賊は何れも結髪して韓服韓帽を着し紙捻りの鞋を穿ち言葉は京城訛りなりしと



紳士の遊興振

▲戸叶薰雄君

大韓日報社長の君は關東は鑛毒に關係ある野州の生れで鑛毒の名物男田中正造翁は君の先輩である、君が同翁と共に渡瀨川の彼方此方に奮戰し、或時は利根川の堤に數千の鑛毒民を率ひて血を流した事もあるそうだ、元來栃鎭翁は一寸聞くと朴訥一點張りの野生漢の樣なれど中々以て左樣でなく遊藝殊に淨瑠璃は素人離れが爲て居るとの事、されば君も同翁に私淑した勢か否かは知らざれ共中々の通人で其遊興振も又通の通たる者だ、君元來大酒家ならざるも附合ならば何んでも呑む、呑んで興起れば殆どあらゆる藝盡しをやる、其內取譯け御當人の得意とする處は例の『退韓命令何んのその』と壺坂の淨瑠璃である其壺坂も『夢が浮世か、浮世か夢か』の出が最も甘く是だけを聞けば全く黑人じみて居る、侍席の藝妓杯は戸叶さんの義太夫も出だけは中々立派である、ドウか後をやらない樣にと忠告するそうだ、由來君の遊方は頗る淡泊にして其對手も若い妓杯は呼ばず多く年增藝妓を招んで遊ぶ、是れも苦き經驗を嘗めた結果であらう……（投書歡迎）

次は大久保辯護士

●飮料水の注意 仁川市中各飮食店其の他の店頭に陳列する夏季飮料品ラムネ蜜柑水及び葡萄酒の類が屢々不良の故を以て投棄せしめられ居る次第は本紙の屢々記載する通りなるが近來各所にて沈澱物尠からざるもの發見せられ仲には殆ど腐敗せる溝水樣のものさへあり其都度其筋の嚴戒を受けつゝありと云ふが今や斯く酷暑に向ふ折柄嚴重取締を行ふは勿論なるも、需要者にあつても大に注意すべき事共なり

●睪丸の綻び 仁川新埋立地にて一韓人が睪丸を破り苦悶し居るとの屆出でに接し仁川署員出張取調べたる處右は金丁權（三〇）と云ふものにて當日日本人の持船に雇はれ金三圓を儲けたる嬉しさにしたゝか酒を呷り誤つて棧橋より墜落せる際睪丸を木片に引懸けたる始末と判明し相當保護を加へて濟生病院に入院せしめたり

●拾得物の數々 南山町二の一七三常滑商會店員岡勇作は赤皮製の財布一個（金二十錢五厘及鍵等在中）を拾得▲會洞派出所詰村岡巡查は一昨日午后三時南大門通二丁目街路に於て繻子張男蝙蝠傘一本を拾得す▲新町三丁目橫山龜藏は昨日午前三時頃本町三丁目街路に於て鰐皮金入に現金一圓九錢と外に指輪一個在中の者を拾得▲南山町二の九山田安太郎は一昨日午前四時日の出町に於て韓人警部着用の外套一着を拾得す

●飼犬に咬まる 南部弘門洞四統九戸李元明（四四）は一昨日午後三時四十分頃壽町一の一田中性實方飼犬に咬み付かれたるが該犬は先日も某韓人に咬み付きたる事あれば獸醫をして檢案せしむる筈

●泥棒の八方攻 仁川牛角洞の某韓人家屋に昨夜李雲先（三九）と云ふ韓泥忍び入りたるを村民が發見し泥棒だと大騷ぎを始めたるより李は驚き慌て同地米國人某の別莊に逃げ込みたるが此報に接し仁川署科刑事は直に同所に出張したる所李は又もや海岸の方面に逃げ出したるが韓刑事三名は直樣追跡して逮捕し本署に引致したるが尚余罪ある見込なれば目下嚴重に取調中なりと

●京城市內の開業醫 五月中の調査に係る京城市內日本人開業醫は三十名にして其他產婆二十五調劑師二鍼灸三なりと

●小兒の怪我 明治町三丁目二十一番戸和田篤朗長男（三つ）は一昨日午後六時頃自宅前街路に於て遊戲中韓人柳孫なるものゝ挽き來れる荷馬車に觸れて擦過傷を負ひ直ちに漢城病院に入院せしめたるが交通頻繁なる處にて小兒の獨遊は頗る危險なれば父兄たる者大に注意すべき事共なり

●盜難の注意 近來盜難頗る多く警察署に屆け出づるものも毎日數件を以て數ふる位なるが右は何れも戸締りの不注意より罹る樣子なれば此際各自戸締の注意あり度き樣當局者は語り居れり

●酒癖の惡い男 京城內ラムネ水製造業永池平三郎（四二）は去る二十九日商用にて當地に來りし者なるが一昨日當地南山湯にて只飮の御馳走に預り大に酩酊して午後六時頃南部水閣橋道路通行中韓人朴永西に衝突し鷄卵六個を打ち割りたる上木履を以て同人を毆打せしを警官に認められ南部署に引致醉の醒むるを待ち嚴戒の上放還

●自轉車と衝突 明治町一丁目糸山三次郎（三三）は七日午后一時四十分頃長谷川町自轉車にて通行中鼎商店前街角に於て同町濱田淺藏長女ちよ（六つ）に衝突し鼻孔を負傷せしめたれば被害者、直ちに安東病院に連れ行き加害者三治郎はちよの父淺藏と共に南部署に同行せられしが双方示談にて事濟み

●○○○○○○○○○○

骨相子の妾撰擇法

萬朝の机の塵に左の樣な記事がある。曾禰と云ふ男は妾を持つにも一々妻君の選定を仰ぎ何時も御當がひで恐悦して居るが其代り妻君のお氣に入らぬと直ぐ拂箱になる、併し結局又た新しいのを取換て貰へるので一切抗議を申出です、家庭は頗る圓滿と云ふ評判だが今度韓國には妻君が往かれぬのを幸ひ公然選擇權を振り廻し天眞樓の女中お何に白羽の矢を立てたが、副統監の御威光でお何を奧樣と呼ばせるには流石の屬官共大に弱つて今回交迭赴任の條件として、以來お何を奧樣と呼ばせぬ事左もなくば此家憲破壞の一條を本當の奧樣に注進に及ぶ事を議決したゲナ

●美身料の賣行盛況 從來貴婦人間唯一の美身料として好評なりしクラブ洗粉は近來男子間にも盛んに愛用せられ都鄙共に同品の至らざるなき盛況なる爲め製產額は頓みに增加して化粧品界中の第一位を占むる迄に至り昨今工場の增築に伴ふて一層製品に意を用ひ配合品、香料等尤も嗜好に適し皮膚保護上に効顯る驗しき爲め需用者の同情は本品に集注し將來の賣行豫想するを得ざる底に盛況なりと

●簿記學校の好況 愛媛縣人御手洗秀治氏の設立に係る京城西小門通日韓簿記學校は一昨日より開校したるが入學者非常に多く頗る好況を呈し居れりさいふ因に入學希望者は此際大至急申込むべしと

●完全なる製綿機械 大阪南堀江六丁目大阪製綿製機合資會社の發賣に係る製綿機は成績優秀にして些の缺點なきより內國製產博覽會に於て金牌を受領せし由

●東京大相撲勝負附

新設國技館に於ける東京大相撲初日の勝負及び二日目取組左の如し

勝		負
龍ケ崎	（[illegible]）	七州山
龍の音	（[illegible]）	八島山
小柳	（[illegible]）	稻瀨川
浪の音	（ひねり）	司天龍
兩國	（すくひなげ）	上ケ汐
朝嵐	（[illegible]）	黑瀨川
太刀山	（[illegible]）	大の川
中入		
藤見嶽	（[illegible]）	男嶋
小常陸	（[illegible]）	柏山
尼ケ崎	（[illegible]）	鏡川
國見山	（[illegible]）	千年川
中入後		
八國山	（[illegible]）	佐賀海
錦戸	（[illegible]）	神崎
氷見濱	（預）	立川
大湊	（あびせかけ）	大崎
高見山	（[illegible]）	鶴渡
山泉	（[illegible]）	玉椿
常陸山	（[illegible]）	鳳
綠島	（[illegible]）	紫雲龍
大綠	（[illegible]）	有村
碇潟	（したでなげ）	伊勢濱
梅ケ谷	（分）	西の海

「二日目の取組」

錦戸 司天龍 有村 黑瀨川 柏山 綠嶋 鶴渡 玉椿 國見山 梅ケ谷

氷見濱 小常陸 大湊 浪の音 大綠 尼ケ崎 朝嵐 碇潟 兩國 千年川

瀧の音 稻瀨川 立川 鏡川 大崎 上ケ汐 鳳 太刀山 伊勢濱

男島 神崎 山泉 小柳 紫雲龍 大の川 西の海 高見山 常陸山

▲七日着城した九州實業新聞社主催の慰問團は何時の間にか觀光團と改名せられたマア名なぞは何うでも宜しいが目的たる第六師團將士の慰問を忘れぬ樣願ひます忘れぬ迄も宴會々々で自然此の方の時間が多くなつて肝要の目的が伴にならぬ樣に注意せられたい（熊本縣人）▲東京では又鹽の戾税で臭い議員がある相だ鹽をして置いてさへ腐る人間の腸は魚の夫れよりも下等だ從つて其の臭氣も夫れ以上だらふクウックウックウッ（熊公）▲太平町通りの○○亭と云ふ飮食店の噂は少し馬鹿だ客に對してコン反り返つて居ながら挨拶をする（立腹生）▲本町二丁目の成田屋珍店に美人が居ますが彼れは娘ですか（はた山）▲女だから娘サ男なら息子と相場はモウ先から極まつて居る、女を捉へて更めて娘ですかと聞く奴があるもんですかモ少し緊固した聞き方を仕玉へ敢て高數を吝まんね（小僧）▲私はツイ先日迄飯櫃の洗い流しを塵芥箱に棄てゝ居りましたが御隣居樣が向ふの湯殿の屋根に載せて置きなさ仰言つたから何う成さるた心算か知らんと思ひ乍らも其の通りに仕て置きますと雀か何十羽となく集つて嬉しさうに食べて總いました夫れからは夫れが樂しみで一粒の御飯も屋根に上げて置いて遣ります（南）

（山の下女）▲婦人にして若し出齒式色魔に跟けられて居るを覺つたらば自から其の裾をヒンまくつて此れに逆襲を試みよ如何なる奴も逸足出して逃ぐるは必定なり但し僕には利目なし（大色魔）▲大漢門前巷路の高砂と云ふ飮食店の筋向ひの小路の突當りに淫賣婦の佃屋がある其處の案內者の服裝が振つて居る、黑羅紗詰襟の洋服で郵便配達の持つ樣な手提燈を持つて客の先に立つて行く、此れを暫くすると女がソロリ〳〵と忍んで行く其容子が何んとなく可笑しい警八風紀防方法としては一寸思ひ付きだ、此れの本店は何處だと思ひます（いろは）

拜啓 新綠蒼々之候愈御淸福奉欣賀候 陳者不肖龍山民團へ在職中は公私共不一方各位の御眷顧を蒙り感謝の至りに不堪候實は一々拜趨御禮可申上筈之處公私多端の際乍略儀以紙上御禮申上候也

五月三十一日

淵上貞助

⊛天氣豫報（自八日午後六時至九日午後六時）

南の風曇但少雨

各種 洗濯石鹼 專門製造販賣
用途 陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、諸工業用
京城旭町二丁目（電話九七三番）
朝日石鹼製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇度　年廿五普通教育有る婦女會社病院商店の事務員又奥様ある家庭の上女中に雇れたし保證人あり　名在社（二七八）

●開校　私立裁縫徒弟學校開始す希望者は至急申込まれ規則書入用の向は郵券二錢送付す　龍山本町三の六六　吉村又平治

●注意　紹介依頼者にして電話を有せざる御方は依賴の際郵券封入有りたし左なくば諸般の通知をなすに由なし（係）

●買子募集　廿歲以上の男子六名入用　旭町一の六〇　旭町競賣所（二八〇）

龍山の霞城生に告ぐ　君とは別人なり（係）

物件部

●賣家　龍山元町電車通（テンカン局隣）地所七十坪韓家屋十八坪地所共格安賣たし　氏名在社（二七九）

●電話讓受たし　本町民團役所前　佐々木

●砂金鑛讓物あり　本町民團役所前　佐々木

廣告

東洋總代理店


電話 壹壹八〇 九四番

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣
末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材
京城旭町三丁目
建築業 柴田芝之六
電話五六八番

公告

當會議所議員半數改撰期に付き來る九日より十一日に至る三日間當會議所内に於て毎日午前九時より午後四時迄選擧及び被撰擧名簿を縱覽に供す

明治四十二年六月七日

京城日本人商業會議所
會頭 中村再造

龍山 萬長旅館
東山の手柳町所
電話四〇番

明治廿年七月創立●資本金一千萬圓●
東京火災運送海上保險株式會社
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

營業科目

活版活字鑄造
石版銅版
木版彫刻
コロタイプ版
寫眞版
繪模樣
製本裝釘

今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ京城ノ地ニ新設備ヲ完成仕候間倍舊ノ御愛顧之程奉願上候也

日韓印刷株式會社
本社 京城明治町三丁目 電話（三二三番）
東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋（三九六二番）

急告

今般當院に慈惠部を設け資力少なき患者十名を限り入院治療の需に應ず
但し入院料一日八十錢を越へず
龍山老松町（電話一二八番）
上田病院慈惠部

眼科專門

京城本町一丁目參十四番戶
元藤井跡（電話三十三番）
江頭眼科醫院
醫學得業士　前漢城病院眼科部長　江頭富雄

本所は江湖の依賴に應じ誠實迅速に鑛物鑑定及分析に從事す
手續書は郵券一錢五厘御送付次第送呈す
擔當者は元鑛山監督分析署技師粟野德一
鐘路通一丁目
漢城鑛物分析所（電話二三八番）

九州セメント
上等生石灰販賣
京城南山町一丁目電話三四四番
山村商店
龍山元町一丁目 電話三四八番
中村運送店

明治町二丁目七十五番戶
辯護士 岩田仙宗
電話三五四番

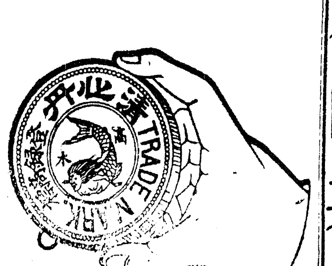
大流行と大好評
のクラブ洗粉

未だ髪に試ざる紳士ありや



クラブ洗粉の常用は現代紳士の特權なり

クラブ洗粉は顏に最も有効なり
然れども顏のみの專有にあらず
クラブ洗粉を以て髮を洗へば
必ず滿足なる効果あり

代理店


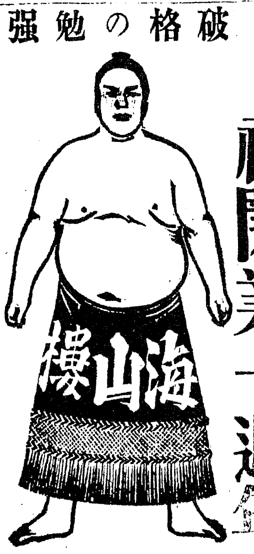
懷中要藥

清心丹は旅行携帶藥として缺く可からざる良藥にして汽車汽船のゑひを快よくすること妙
清心丹は高尙なる香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を清朗ならしむる特効有を以て發聲家其他交際場裡の必携劑なり
清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし
清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ
清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙
清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を嚙み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり
清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒嚙み碎用ひて大に豫防す
清心丹は人魚の商標と高木與兵衛の名儀へ御注意之上御求めを乞ふ
清心丹は定價金一圓（箱入）五十錢（箱入）卅錢十五錢（罐入）十二錢（瓶入）廿錢十錢五錢（紙袋）の八種あり
清心丹は製造本舖は東京市日本橋區元大坂町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

京城南大門通三丁目 電話（九百四十八番）
新井藥房本店
京城本町三丁目（電話四七八番）
新井藥房第一分店
京城南大門外
新井藥房第二分店

破格の勉强

祝開業一週年



當店儀昨年以來當地櫻井町に營業罷有候處各位の御引立を蒙り日增繁榮に赴き候段難有奉鳴謝候付ては開業滿一週年に相當致し候間聊祝意を表する爲め弊亭の風習を改革致し一切色氣無しとし料理は其道の達人を雇入れ破格の勉强仕り候間賑々敷御來車の程奉希上候謹言

會席一人前八十錢ビール一本付
仕出しも同額にて速に持參致ます

京城櫻井町一丁目
海山亭
電話九百七十八番

元祖 消毒 殺菌 牛乳
京城大和町壹丁目
牛山牧場
電話一三三

特約販賣 自賣製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店（電話二五一番）
和洋酒、缶詰精酢、穀物、麵類、銘茶、罐詰、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金五十錢 ▲三ヶ月 ▲六ヶ月前金貳圓 ▲一ヶ年 拾參錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢 ▲四號活字十九字詰一行金五十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木入馬太郎
發行所 京城新報社
京城西署西小門通 電話六六三番

釜山出張所 門司 神戶行
山東丸 月 日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行
高砂丸 月 日正午時出
●大連、大沽、牛莊行
山東丸 六月二十二日前五時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸 六月十七日正午出
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
立神丸 六月十六日午後
御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

日本郵船株式會社
汽船仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通
郡回漕店
電話九三番

氣候變化＝牛乳
◉牛乳＝純良＝消毒
韓國畜產株式會社
南大門外（電話八八番）

▲懇切の下宿▼
かめ屋

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戶橫小路（元花屋跡）

大韓國皇太子殿下特定御用
消毒 牛乳 荒井牧場
電話一〇五六